Panasonic

取扱説明書

SDカーナビステーション

Strada

品番 CN-F1D

ご使用前に、「安全上のご注意」(P.6～9)を必ずお読みください。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、説明書とともに大切に保管してください。

下記サイトで「ユーザー登録」をお願いします

PC http://panasonic.jp/navi/

- ユーザー登録と同時に、自動的に「ナビcafe」の会員登録が行われ、インターネットでの各種サービスをご利用いただけます。

VICS WIDE / Blu-ray Disc / DVD VIDEO / COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT / SDHC / 地デジ DIGITAL

dts 2.0+Digital Out / DOLBY AUDIO / Bluetooth / HDMI / Java POWERED

AVCHD / AVCREC / srs CS Auto

Made for iPod iPhone / androidauto

gracenote

保証書別添付

車内に調和するスリムなフォルム

薄型のディスプレイと奥行きのあるデザインで、浮遊感を演出。
いろいろな車種に取り付け可能な構造です。

大画面 9V型ディスプレイ

大きな画面で見やすい地図表示。
使いやすいタッチキーで操作もスムーズに行えます。

Blu-ray Disc™再生機能

市販のBlu-ray Discを、高音質・高画質で再生。
車内でも迫力ある映像をお楽しみいただけます。

本書の読みかた

●タッチキーとディスプレイユニットのボタンを、下記のように描き分けています。

例）案内スタート　決定：タッチキー

AUDIO　MENU　MAP：ディスプレイユニットのボタン（本体のボタン）

もくじ

安全上のご注意 6

はじめに P.10

使用上のお願い..... 10
各部のなまえとはたらき 12
タッチパネルの操作について 14
基本操作・準備（確認・調整）..... 15
取り付け・配線の確認 19
初期設定をする..... 21
ステアリングスイッチの設定をする..... 23
メニュー画面の操作..... 24
セキュリティの設定をする 27

ナビゲーション P.28

地図の紹介 30
地図の見かた 34
ランチャーメニューで操作する 38
ルート・案内・地図・VICSをアレンジする（ストラーダチューン）..... 40
地図の操作 42
行き先までのルートを作るには 50
行き先を探す 52
ルートを探索する..... 57
全ルート図から設定・確認する..... 58
ルートを編集する..... 60
ルートを保存する..... 62
渋滞データバンク探索をする 63
ルート探索について..... 64
ルート案内中に..... 66
地点を登録する（登録地）..... 70
VICS情報を見る..... 74

オーディオ P.80

オーディオの基本操作..... 82
テレビを見る 84
ラジオを聞く 91
交通情報を聞く..... 91
ディスクを再生する..... 92
BLUETOOTH Audioを再生する 103
SDメモリーカードに音楽CDを録音する ... 104
本機で録音した音楽データを再生する 106
本機で録音した音楽データを編集する 108
SDメモリーカード・USBメモリーを再生する 116
iPodを再生する 120
音質・音場を調整する（オーディオチューン）..... 124
映像を調整する..... 130
現在地画面にオーディオ映像を表示する ... 131

BLUETOOTH® P.132

BLUETOOTH対応機器を本機に登録する 134
BLUETOOTH対応機器を手動で本機と接続する..... 136
BLUETOOTH対応機器の詳細情報を見る 138
本機の本体情報を見る..... 139
ハンズフリーで通話する 140
Drive P@ssを利用する（スマートフォン連携）..... 144
おでかけナビサポート ここいこ♪（スマートフォン連携）..... 150
スマートフォンをリモコンとして使う（スマートフォン連携）..... 151
音声認識で目的地を検索する 152

その他 P.155

■ その他の機能
Android Auto™を利用する..... 156
ecoドライブ機能を使う 158
メンテナンス情報を設定する 159
地図更新について..... 160
バージョンアップする..... 162
■ 別売品
別売品と組み合わせて使う 162
■ 設定
利用に応じた設定に変える 174
■ 困ったとき
よくあるお問い合わせ..... 180
故障かな!?..... 181
■ 必要なとき
文字入力のしかた..... 195
ディスクについて..... 196
お手入れ 198
SDメモリーカード・USBメモリーについて 199
データ作成時の留意点..... 200
BLUETOOTHについて..... 203
言語コード一覧表..... 204
ナビゲーションシステムとは 205
VICSについて 208
地図ソフトについて..... 210
市街地図の収録エリア..... 214
ジャンル一覧 216
さくいん..... 218
商標などについて..... 222
ソフトウェア、およびオープンソースソフトウェアについて..... 224
仕　様..... 232
保証とアフターサービス 234

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

⃠	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

取り付けや配線をするとき

⚠ 警告

❗ **本機はDC12 V⊖アース車専用です**
DC24 V車には使用できません。火災や故障の原因となります。

説明書に従って、取り付けや配線をする
作業は手順どおりに正しく行ってください。火災や故障の原因となります。

作業前に、車体のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認する
車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないようにし、加工部にサビ止め・浸水防止処置をしてください。火災や感電の原因となります。

作業前に、必ずバッテリーの⊖端子を外す
外さずに作業をすると、ショートによる感電やけがの原因となります。

使用しないコードの先端などは、テープなどで絶縁する
被覆がない部分が金属部に接触すると、ショートによる火災や感電、故障の原因となります。

サイドブレーキコードを正しく配線する
安全機能が働かず、交通事故の原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回す
ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダルなどに巻きつくと、交通事故の原因となります。

作業後は、車の電装品*の動作確認をする
正常に動作しないと、火災や感電、交通事故の原因となります。
*ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウィンカーなど

フィルムアンテナは、保安基準の取付許容範囲に貼り付ける
視界不良による事故の原因となります。

取り付けや配線をするとき

⚠ 警告

❗ **取り付け(取り外し)や配線は、専門技術者に依頼する**
誤った取り付けや配線をした場合、車に支障をきたすことがありますので、お買い上げの販売店にご依頼ください。

⃠ **適合車種以外には、絶対に取り付けない**
視界や運転の妨げにより、交通事故やけがの原因となります。適合車種については、Webサイト(http://panasonic.jp/car/navi/f1d-taioushashu/)をご覧ください。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

視界や運転を妨げる場所*、同乗者に危険をおよぼす場所には、取り付けない
交通事故やけがの原因となります。
*ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル付近など

車両メーカーが指定する禁止エリアに、取り付けや配線をしない
カメラ装置などの動作を妨げるおそれがあり、交通事故の原因となります。車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。

エアバッグの動作を妨げる場所には、取り付けや配線をしない
エアバッグが動作しなかったり、動作したエアバッグでナビゲーションや部品が飛ばされ、死亡事故の原因となります。車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。

取り付けやアース配線に、車の保安部品*を使わない
制御不能や発火、交通事故の原因となります。
*ステアリング、ブレーキ系統、タンクなどのボルトやナット

ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない
誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

コードを破損しない
断線やショートによる火災や感電、故障の原因となります。
- 傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものを載せる、熱器具へ近づける、車の金属部や高温部に接触させるなどしないでください。
- 車体やねじ、可動部(シートレールなど)へ挟み込まないように配線してください。
- ドライバーなどの先で押し込まないでください。

分解禁止

分解や改造をしない
特に、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは、絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。

安全上のご注意 必ずお守りください

取り付けや配線をするとき

⚠ 注意

必ず、付属品や指定の部品を使用する
機器の損傷や確実に固定できず、事故や故障、火災の原因となります。

しっかり確実に取り付ける
走行中の脱落や破損などで、交通事故やけがの原因となります。
取り付ける場所の水気や汚れ（ほこりや油など）は、取り除いてください。
取り付けの状態（接着やねじのゆるみなど）を、ときどき点検してください。

板金やエッジ、樹脂バリおよび可動部に干渉しないように配線する
断線やショートによる火災や感電、故障の原因となります。

本機の通風孔をふさがない
内部に熱がこもり、火災や故障の原因となります。

ご使用になるとき

⚠ 警告

ルート案内中でも、常に、実際の交通規制に従う
交通事故の原因となります。

ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門技術者に依頼する
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。
ヒューズ交換や修理は、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」に依頼してください。

スピーカーは、本機の仕様に適合したもの*を使用する
火災や発煙、発火、故障の原因となります。
＊最大入力が50 W以上のハイパワー用で、インピーダンスが4 Ω～8 Ω

医療用電気機器などへの影響を確認する
本機は、無線機能を搭載しています。心臓ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用になる場合は、当該の各医療用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響について必ずご確認ください。

運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視しない
必ず安全な場所に停車し、パーキングブレーキを引いた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。

大きな音量で使用しない
車外の音が聞こえないことによる交通事故の原因となります。

ご使用になるとき

⚠ 警告

故障や異常な状態のまま使用しない
画像が映らない、音が出ない、異常（異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がするなど）が起きた場合は、ただちに使用を中止し、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」にご相談ください。事故や火災、感電の原因となります。お客様による修理は、絶対におやめください。

SDメモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない
誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

機器内部に、水や異物を入れない
特に、傘による雨水や、飲み物などがかからないようご注意ください。
水や、湿気・ほこり・油煙、金属物や燃えやすいものなどが機器内部に入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電、故障の原因となります。

接触禁止

雷が鳴りだしたら、アンテナコードや本機に触らない
落雷による感電のおそれがあります。

⚠ 注意

ディスプレイの温度を確認してから起倒や角度調整をする
日光やヒーターの熱風などが長時間直接あたっていた場合や長時間連続使用した場合などは、本機が高温になり、やけどをするおそれがあります。
その場合、温度が低下するまで使用を控えるようにしてください。

本機を車載用以外には、使用しない
発煙や発火、感電、けがの原因となります。

ディスプレイを前に倒した状態のまま運転しない
車の衝突、および急ブレーキやカーブなどで衝撃を受けて身体が本機と接触した場合、けがをするおそれがあります。

可動部やディスク挿入口に手や指を入れない
特に、ディスプレイの起倒や角度調整の際にご注意ください。
けがの原因となります。

落下させる、たたくなど、強い衝撃を与えない
故障や火災の原因となります。

ディスプレイや可動部に負荷を与えない
脱落や破損などで、交通事故やけがの原因となります。

使用上のお願い

エンジンをかけてご使用ください

●エンジンを止めて長時間使用すると、バッテリーが消耗します。なお、アイドリングが禁止の地域もありますので、地域の条例等に従ってください。

他の機器と接続する場合は

●接続する機器の説明書もよくお読みになり、正しく配線してください。

携帯電話を使用する場合は

●電話の位置や向きにより、映像や音声などに不具合が生じることがあります。その場合は、本機からの距離などを変えてご使用ください。

液晶ディスプレイについて

●先端が硬いもの(ボールペン、ピン、爪の先など)は使わず、必ず指で触れて操作してください。また指でたたいたり、強く押さないでください。傷、破損、誤動作の原因となります。
●表面の汚れなどは、市販のクリーニングクロスを使い、指の腹で軽く拭いてください。
●車から離れるとき(本機を使用しないとき)は、本機に直射日光が当たらないように、車のサンシェードなどをお使いください。
●低温になると、映像が出ない、映像が出るのが遅い、動きに違和感がある、画質が劣化したりすることがあります。
●冷暖房を入れた直後など、水蒸気で画面がくもったり、露(水滴)で、正しく動作しないことがあります。約1時間放置してからご使用ください。
●高温になると、画面の明るさを自動調整したり、本機の起動を停止する場合があります。
●液晶ディスプレイの画素は、99.99 %の精度で管理されていますが、0.01 %以下で画素欠けするものがあります。
そのため、黒い点が現れたり、赤・緑・青の点が常時点灯する場合がありますが、故障ではありません。
●液晶の保護シートを使用する場合は、必ず別売の低反射シート(CA-ZND090D)を使用してください。他の保護シートを使用すると、視認性や操作性が損なわれる場合があります。

免責事項について

●火災や地震、第三者による行為、その他の事故、取り付けの不備、お客様の故意または過失、誤用、異常な条件下での使用により故障および損害が生じた場合、補償はできません。
●本機の使用や使用不能から生じる付随的な損害(事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など)に関して、当社は一切の責任を負いかねます。
●本機を業務用のバスやトラック、タクシー、商用車などに使用した場合の保証はできません。
●プライバシー保護のため、本機に登録した個人情報(登録地の位置や電話番号など)は、お客様の責任において取り扱いや管理を行ってください。
当社は一切の責任を負いかねます。
●番組表などの地上デジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一、本機の不具合により、これらの情報が消失した場合、復元できません。また、その内容の補償はできません。
●次の場合、補償はできません。
・誤使用や、静電気などの電気的なノイズを受けたことにより本機が正常に動作しなくなった場合
・誤使用や、静電気などの電気的なノイズを受けたとき、または故障・修理のときなどに本機に登録されていた情報が変化・消失した場合

大切な情報(登録地など)は、万一に備えてメモなどをとっておくことをおすすめします。

著作権などについて

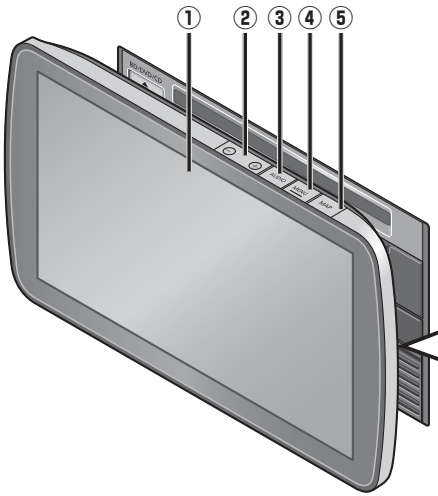
●著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
●本製品はコピー防止技術を採用しており、ロヴィ社が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されております。分解したり、改造することも禁じられております。
●本機は許諾契約に基づき当社が使用許諾を受けた第三者のソフトウェアを含んでおり、本機からのソフトウェアの取り出し、複製、リバースエンジニアリング、その他の許諾されていない当該ソフトウェアの使用は固く禁じられています。また、当該ソフトウェアを更新する目的で配布されるプログラム、データについても同様の扱いとなります。

地上デジタル放送の受信について

●受信状態が悪くなると、映像のブロックノイズや音声の途切れ、静止画面や黒画面となり音声が出なくなることがあります。
●家庭用に比べて受信エリアは狭くなり、また、車の場所や方向、速度などにより受信状態も変化します。
●著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを介してモニターへ出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴する場合は本製品とモニターを直接接続してお楽しみください。
●本機の仕様は、ARIB(電波産業会)規格に基づいています。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
●本製品は、B-CASカードを使用せずに地上デジタル放送を視聴できる新RMP方式*を採用しているため、B-CASカードを付属しておりません。

＊新RMP方式とは、地上デジタル放送のコンテンツ権利保護専用方式です。
詳しくは、下記サイトをご覧ください。
一般社団法人地上放送RMP管理センター
http://www.trmp.or.jp/

各部のなまえとはたらき

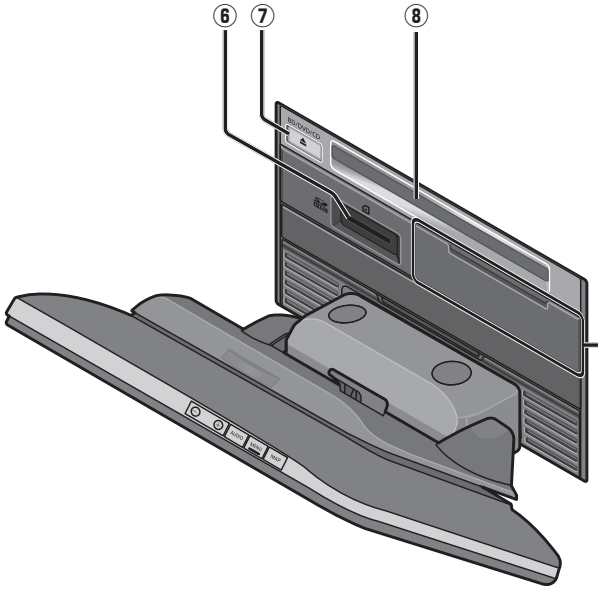


ディスプレイ

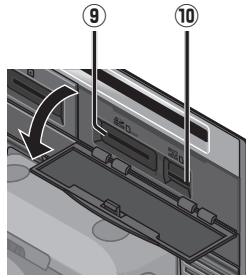
位置や角度の調整ができます。(手動)

- 上下位置を調整する →P.18
- 角度を調整する →P.18

ディスプレイを倒した状態



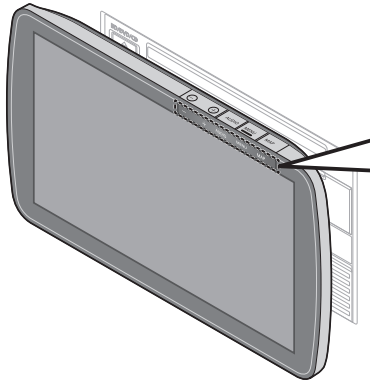
ふたを開けた状態



①	**タッチパネル**	●タッチ操作時に使用
②	**音量ボタン(− ＋)**	●音量を調整
③	**AUDIO**(オーディオ)	●オーディオ画面に切換 ●オーディオメニューを表示 ●オーディオOFF/ON(2秒以上押す)
④	**MENU**(メニュー)	●ツートップメニューを表示 ●音声認識を開始(1秒以上押す)
	Blu-ray Disc DVD	●タッチキーを表示 (タッチキーを表示していないときに押す) ●ツートップメニューを表示 (タッチキー表示中に押す)
⑤	**MAP**(マップ)	●自車位置(現在地)を表示 ●画質調整画面を表示(2秒以上押す)
⑥	**SDメモリーカード挿入口**	●市販のSDメモリーカード(P.116、199)を挿入する
⑦	**ディスク取り出しボタン(⏏)**	●ディスクを本機から取り出す
⑧	**ディスク挿入口**	●ディスクを挿入する
⑨	**地図SDHCメモリーカード挿入口**	●付属の地図SDHCメモリーカード(P.161)が挿入されています
⑩	**microSDHCメモリーカード挿入口**	●市販のmicroSDHCメモリーカード(Blu-ray用→P.93)を挿入する

ボタンシール(添付品)について

ディスプレイユニットのボタン配置が確認しやすくなります。必要に応じてご使用ください。



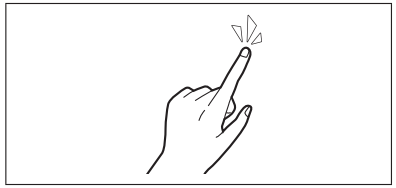
シール貼付位置

- シールは、本説明書の入ったポリ袋の中に入っています。
- ディスプレイユニットのボタンの位置と合わせてください。
- 表示部(タッチパネル)に重ならないように貼ってください。
- 貼り直しはできません。

- シールの上に低反射シート(別売品)を貼ると、重なった部分の段差に空気が入ります。使用する場合は、低反射シートの上にシールを貼ってください。

タッチパネルの操作について

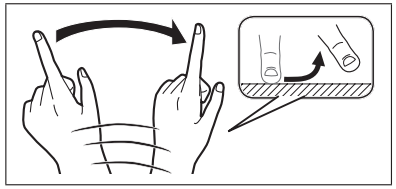
本機のタッチパネルの操作のしかたは、下記のとおりです。



■タッチ

指で画面に軽く触れる。

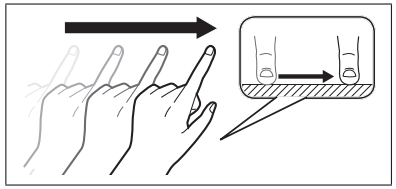
- 本書で「○○**を選ぶ**」と記載している場合は、タッチで項目を選んでください。
- 本書で「**○秒以上タッチする**」「**タッチし続ける**」と記載している場合は、長くタッチしてください。



■フリック

指で画面をはらう。

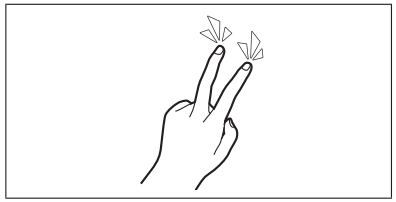
- **メニュー画面**をフリックした方向に切り換える。
- **リストの項目**をフリックした方向に移動させる。
- **地図画面**をフリックした方向にスクロールする。



■ドラッグ

指で画面をタッチしたまま、なぞる。

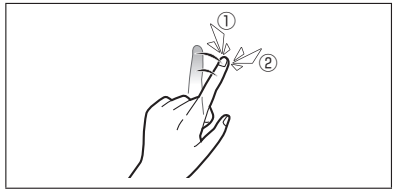
- **メニュー画面**をドラッグした方向に切り換える。
- **リストの項目**をドラッグした方向に移動させる。
- **地図画面**をドラッグした方向にスクロールする。



■2点タッチ（同時に2カ所をタッチ）

同時に2カ所をタッチする。

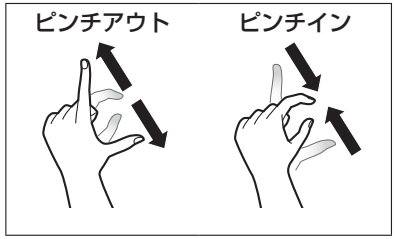
- 地図の縮尺を「広域」に切り換える。



■ダブルタップ（連続して2回タッチ）

同じ場所を連続して2回タッチする。

- 地図の縮尺を「詳細」に切り換える。



■ピンチ

2本の指で、間隔を広げる/狭めるようになぞる。

- **ピンチアウト（広げる）**
  地図の縮尺を「詳細」に切り換える。
  ・指の間をぴったりつけずに、指1本分くらい間隔をあけてください。
- **ピンチイン（狭める）**
  地図の縮尺を「広域」に切り換える。

基本操作・準備（確認・調整）

電源を入れる

1 車のエンジンをかける（ACCをONにする）

- 本機の電源が入ります。
- セキュリティコード入力画面が表示されたら→P.27

2 警告画面の注意事項を確認して、確認を選ぶ

- 現在地画面(自車位置)が表示されます。
- オーディオ画面が表示されたときは、MAPを押すとナビゲーション画面（現在地）に切り換わります。
- 約10秒間何も操作しないと、警告画面は消去されます。
- 別売のETC2.0*1車載器を接続すると、ETCカードの状態などをお知らせします。
- BLUETOOTH対応機器を本機に接続しているときは、本機の電源を入れるとBLUETOOTH対応機器との接続確認のメッセージが表示される場合があります。
- メンテナンス情報の設定をすると、本機の電源を入れたときに、メンテナンス情報の案内画面が設定された条件で表示されます。(P.159)

電源を切るには

車のエンジンを止める（ACCをOFFにする）

- 本機の電源が切れます。
- ETC2.0*1車載器を接続している場合は、カード抜き忘れ案内をお知らせします。(P.178)
- iPodを接続している場合は、iPod抜き忘れ案内をお知らせします。(P.178)
- 盗難多発地点でエンジンを止めた場合は、盗難多発地点音声案内と表示案内をお知らせします。(P.178)

＊1 従来の「DSRC」という呼称が「ETC2.0」に、「ITSスポットサービス」という呼称が「ETC2.0サービス」に改称されました。
本書では、「ETC2.0対応DSRC車載器」のことを「ETC2.0車載器」と表記しています。

自車位置を確認する

初めて本機を起動したときは、自車位置と異なる地図が表示されますが、GPS衛星からの信号を受信し、しばらくすると自車位置付近の地図（現在地画面）が表示されます。見晴らしの良い場所で下記の操作を行ってください。

1 GPSを受信していることを確認する

GPSを受信すると方位マークの灰色の部分が黄色に変わります。

2 見晴らしの良い道路を、そのまましばらく走行する（60分以上）

- 地図画面上の自車マークの位置と実際の自車位置との誤差が補正されます。

お知らせ

- **しばらくたっても自車位置が表示されないときは、GPS情報(P.16)から受信状態を確認してください。**

GPS情報を確認する

1 ツートップメニュー（P.24）から **情報・設定** を選ぶ

2 情報・設定メニュー（P.25）から **情報** を選ぶ

3 情報メニュー（P.25）から **GPS情報** を選ぶ

4 GPS情報を確認する

- 緯　　度：現在位置の緯度を表示
- 経　　度：現在位置の経度を表示
- 捕 捉 数：測位に使用している衛星の数を表示
- 年 月 日：現在の日付を表示
- 現在時刻：現在時刻を表示

自車位置を変更する

通常は、この操作は必要ありません。

1 ツートップメニュー（P.24）から **情報・設定** を選ぶ

2 情報・設定メニュー（P.25）から **ナビ設定** を選ぶ

3 ナビ設定画面から **表示** を選ぶ

4 自車位置の **修正する** を選ぶ

5 位置を調整し、**セット** を選ぶ

- **微調整**：位置の微調整ができます。

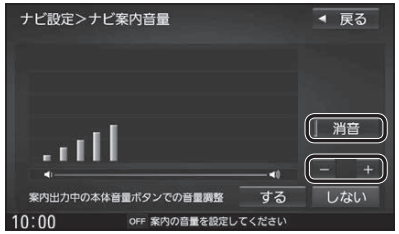
6 ↑↓で自車マークを進行方向に合わせ、**セット** を選ぶ

ナビゲーションの音量を調整する

1 情報・設定メニュー（P.25）から **ナビ設定** を選ぶ

2 ナビ設定画面（P.16）から **ナビ案内音量** を選ぶ

3 ナビ案内音量画面から ナビゲーションの音量を調整する



- **−**/**＋**：音量を調整する（15段階）[お買い上げ時の設定：5]
- **消音**：音声案内なし

■本体の音量ボタンで調整するには

ナビ案内音量画面（上記）から 音量調整 **する**/**しない** を選ぶ

- **する** に設定すると、ナビゲーションの音声案内中に本体の音量ボタン（− ＋）で、ナビゲーションの音量を調整できます。[お買い上げ時の設定：しない]

お知らせ

- 音声案内の詳細な項目（出力するスピーカー、高速走行時の音量など）を設定するには →P.176
- 音声案内および操作音は、リアスピーカーからは出力されません。

オーディオの音量を調整する

− **＋** を押して調整する（64段階）

お知らせ

- 音量は、オーディオごとに記憶されます。

オーディオの音量を一時的に消音する（ミュート）

ランチャーメニューからミュートする

準 備

- ランチャーメニューに **消音** タッチキーを表示させてください。（P.38）

1 現在地画面で **LAUNCHER** を選ぶ

2 ランチャーメニューから **消音** を選ぶ

ステアリングスイッチでミュートする

準 備

- ステアリングスイッチにミュート機能を割り当ててください。（P.23）

MUTEを割り当てたステアリングスイッチを押す

- もう一度押すと解除されます。

お知らせ

- 消音時は、「消音」と表示されます。
- ナビゲーションの音声案内や、音声認識のトークバックなどはミュートされません。
- ハンズフリーの音声（通話音・発着信音）はミュートされません。
- オーディオをOFFにするには →P.83

基本操作・準備（確認・調整）

画面を一時的に消す

情報・設定メニュー（P.25）から
画面OFFを選ぶ

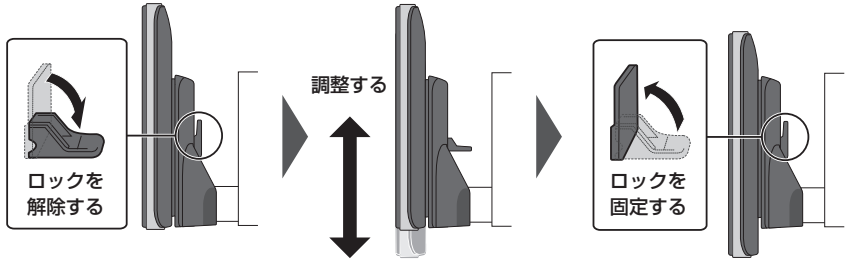
画面を表示するには

AUDIO MENU MAP のいずれかを
押すか、画面をタッチする

ディスプレイの位置と角度を調整する

ディスプレイの上下位置を調整する

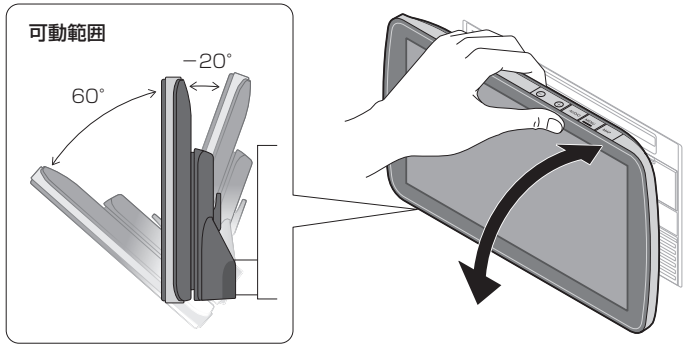
- ディスプレイを起こして、調整してください。
- ロックを固定する前に手を放すと、重みでディスプレイが下がってしまいます。
  ディスプレイを手で持ったまま、ロックを固定してください。



ディスプレイの角度を調整する

ディスプレイの上側をしっかりと持ち、手動で角度を調整する

- 電源が入っているときは、できるだけ操作部（タッチパネル、ボタン）を持たないでください。



お願い

- **ディスプレイは、必ず起こした状態で使用してください。**

お知らせ

- 左右方向の調整はできません。

取り付け・配線の確認

車両信号情報を確認する

1 情報メニュー（P.25）から 車両信号情報 を選ぶ

2 車両信号情報を確認する（下記）

センサー学習値初期化
学習レベルを初期化します。
初期化後は、車のエンジンを止め（ACC OFF）、約10秒以上過ぎてから再度電源を入れてください。

項　目	確認内容
走行状態（パーキングブレーキ）	パーキングブレーキ*1を引くと、「停車」に、解除すると「走行」に変わりますか？
リバース	シフトレバーをリバース（R）に入れると「ON」、解除すると「OFF」に変わりますか？
スモールランプ	車のスモールランプを点灯させると「ON」、消灯させると「OFF」に変わりますか？
車速パルス	走行後、数字が変化していますか？
+B電圧	バッテリーの電圧が表示されます。 12 V（11 V～16 V）になっていますか？
学習レベル	走行後、数字が変化していますか？ ●距離：Level 1～Level 5 ●回転：Level 1-1～Level 5-5 ●3D：Level 1～Level 5

＊1本書では、「パーキングブレーキ」「サイドブレーキ」「フットブレーキ」「ハンドブレーキ」などのことを、「パーキングブレーキ」と呼称して、表記しています。

お知らせ

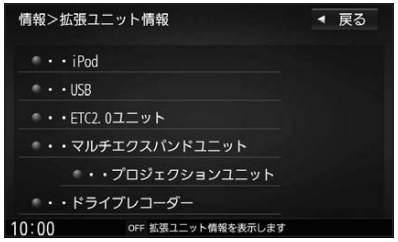
- 次のようなコースでは、補正処理に時間がかかり、学習内容に誤差が出ることがあります。
  ・渋滞・停車を頻繁に繰り返す　・右左折が多い
  ・右左折が極端に少ない　・GPS信号を受信しにくい
- 次の場合にも「センサー学習値初期化」をしてください。
  ・別の車に本機を載せかえた　・タイヤを交換した　・タイヤをローテーションした
- 本機は普段使用する道を学習しており、ルート設定では学習した道を優先的に探索するため、他の効率の良い道が見つかっても、ルート設定に反映されない場合があります。そのときは「ルート学習結果の初期化」（P.179）をして、学習しなおすことをおすすめします。
- 「車速信号が検出できません」と表示された場合は、車速信号（中継）コードの接続を確認してください。
- 車種によっては、速度を上げると自車マークが動かなくなることがありますが、補正処理を行っている間は故障ではありません。

取り付け・配線の確認

拡張ユニット情報を確認する

1 情報メニュー（P.25）から **拡張ユニット情報** を選ぶ

2 拡張ユニット情報を確認する（下記）



項　目	確認内容
iPod＊1	iPodを接続している場合、ON表示になっていますか？
USB＊1	市販のUSBメモリーを接続している場合、ON表示になっていますか？
ETC2.0ユニット	別売のETC2.0車載器を接続している場合、ON表示になっていますか？
マルチエクスパンドユニット	別売のフロントインフォディスプレイ（CY-DF100D）を接続している場合、ON表示になっていますか？ ●フロントインフォディスプレイの「**マルチエクスパンドユニット**」と「**本機**」の接続を確認します。
プロジェクションユニット	別売のフロントインフォディスプレイ（CY-DF100D）を接続している場合、ON表示になっていますか？ ●フロントインフォディスプレイの「**プロジェクションユニット**」と「**マルチエクスパンドユニット**」の接続を確認します。
ドライブレコーダー	別売のドライブレコーダー（CA-DR01D）を接続している場合、ON表示になっていますか？

＊1 同時には接続できません。

初期設定をする

車種を設定する

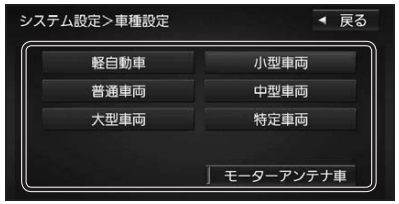
車種を設定すると、有料道路の料金計算に利用されます。

1 情報・設定メニュー（P.25）から **システム設定** を選ぶ

2 システム設定画面から **その他設定** を選ぶ

3 **車種設定** を選ぶ

4 車種を選ぶ



- **軽自動車** ● **小型車両**[お買い上げ時の設定]
- **普通車両** ● **中型車両**
- **大型車両** ● **特定車両**
- **モーターアンテナ車** を選ぶごとに、ON/OFFが切り換わります。[お買い上げ時の設定：OFF]

■モーターアンテナ車の場合＊1
ONに設定する。（インジケーター**点灯**）
- オーディオのON/OFFに連動して、アンテナが伸縮します。

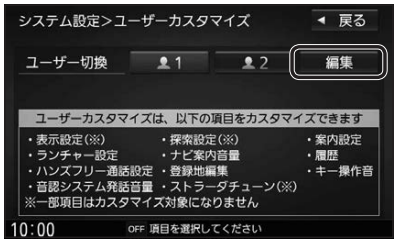
■モーターアンテナ車以外の場合
OFFに設定する。（インジケーター**消灯**）

＊1モーターアンテナ車の留意点
- オーディオをOFFにするとアンテナが収納されるため、FM-VICS情報が受信できなくなります。
- モーターアンテナ車の設定をOFFにすると、アンテナが伸びたままになりますので、立体駐車場など天井の低い場所に入るときはご注意ください。

ユーザー名を設定する

1 システム設定画面（P.21）から **ユーザーカスタマイズ** を選ぶ

2 ユーザーカスタマイズ画面から **編集** を選ぶ



- ユーザー切換
  [お買い上げ時の設定：ユーザー1]

3 ユーザー名を入力し、**決定** を選ぶ
- 全角4文字（半角8文字）まで
- 文字入力のしかた→P.195

ユーザーを切り換える

ユーザーカスタマイズ画面（上記）から **1** / **2** を選び、**はい** を選ぶ
- 選んだユーザーに切り換わります。
- ユーザーごとに、下記の項目を記憶させることができます。
  - 車種設定
  - 表示設定（昼夜切換は記憶されません）
  - 探索設定（到着予想は記憶されません）
  - 案内設定
  - ランチャー設定
  - ビーコン割込み設定
  - 渋滞情報保存時間設定
  - ナビ案内音量
  - 履歴
  - ハンズフリー通話設定
  - 登録地編集
  - キー操作音
  - 音認システム発話音量
  - ストラーダチューン
    （ガイダンスの事故多発地点案内の設定は記憶されません）

初期設定をする

自宅を登録する

目的地メニューから登録する

1 自宅が登録されていない状態で、目的地メニュー(P.25)から 自宅 を選ぶ

2 はい を選ぶ

3 自宅の場所を検索する
- 検索のしかたは、「行き先を探す」と同じです。(P.52～56)

4 自宅登録 を選ぶ
- カーソルの地点が、自宅として登録されます。
- 引き続き、自宅へのルートを探索できます。
- 自宅に出入口の情報がある場合は、メッセージが表示されます。 はい を選ぶと、出入口の位置が自宅として登録されます。

登録地編集画面から登録する

1 自宅が登録されていない状態で、ナビ設定画面(P.16)から 登録地編集 を選ぶ

2 自宅編集<登録されていません> を選ぶ

3 自宅の場所を検索する
- 検索のしかたは、「行き先を探す」と同じです。(P.52～56)

4 自宅登録 を選ぶ
- カーソルの地点が、自宅として登録されます。
- 出入口の情報がある場合は、メッセージが表示されます。 はい を選ぶと、出入口の位置が自宅として登録されます。

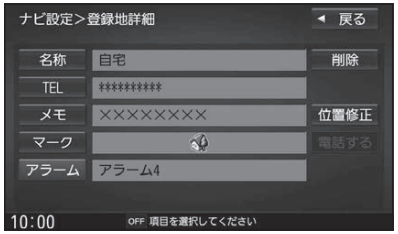
お知らせ
- 登録した自宅を呼び出すには→P.55
- 自宅を別の地点に変更するときは、自宅を削除(P.22)してから、再度登録してください。

自宅を編集するには

1 ナビ設定画面(P.16)から 登録地編集 を選ぶ

2 自宅編集 を選ぶ
- 自宅の登録地詳細画面が表示されます。

3 自宅の登録地詳細画面から自宅を編集する



- 編集のしかたは、「登録地を編集する」と同じです。(P.72～73)

自宅を削除するには

1 自宅の登録地詳細画面(上記)から 削除 を選ぶ

2 はい を選ぶ
- 自宅が削除されます。

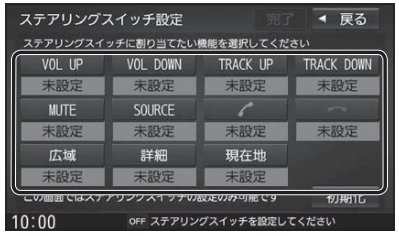
ステアリングスイッチの設定をする

純正ステアリングスイッチを装備している車の場合、ステアリングスイッチに本機の機能を割り当てて、操作できます。

1 情報・設定メニュー(P.25)から システム設定 を選ぶ

2 システム設定画面から ステアリングスイッチ を選ぶ

3 設定したい機能を選ぶ



割り当て可能な機能	対応する本体ボタン/タッチキー
VOL UP	＋ 大
VOL DOWN	－ 小
TRACK UP *1	▶▶ 次へ
TRACK DOWN *1	◀◀ 前へ
MUTE	消音 オーディオの音声を一時的に消音*2
SOURCE	—*3 ● オーディオの種類を切換(切り換わりかた→P.82) ● 音声認識を起動(1秒以上押す)
📞	電話に出る 電話に出る
📞	電話を切る 電話を切る(通話中)/電話に出ない(着信中)
広域	広域 縮尺を広域に切り換える
詳細	詳細 縮尺を詳細に切り換える
現在地	MAP 現在地画面に切り換える

- 初期化 : 設定を初期化

＊1 オーディオがTVのときは、チャンネルの切り換えができます。
＊2 対応する本体ボタンはありませんが、機能を割り当てることができます。ナビゲーションの音声案内や、音声認識のトークバックなどはミュートされません。
＊3 対応する本体ボタンはありませんが、機能を割り当てることができます。

4 車のステアリングスイッチで、機能を割り当てたいスイッチを1秒以上押す
- 手順**3**～**4**を繰り返し、ステアリングスイッチに機能を割り当ててください。

5 すべての機能を割り当てたら、完了 を選ぶ
- ステアリングスイッチの設定が完了します。

お願い
- **すべてのステアリングスイッチに機能を登録してください。機能が登録されていないステアリングスイッチがあると、正しく動作しない場合があります。**

お知らせ
- 車種やグレードによっては、操作可能な機能が異なる場合があります。詳しくは下記サイトをご覧ください。
  http://panasonic.jp/navi/
- ひとつのスイッチに複数の機能を割り当てることはできません。
- ステアリングスイッチ設定画面を表示中は、ステアリングスイッチで本機の操作はできません。

メニュー画面の操作

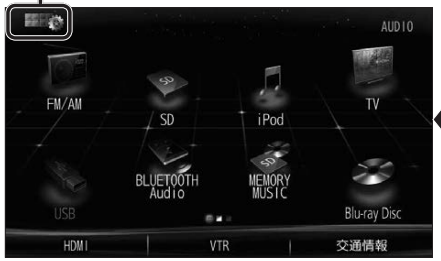
ツートップメニューを表示する

MENU を押す
- ツートップメニューが表示されます。

- Blu-ray Disc・DVD画面では、タッチキーが表示されていない状態でMENUを押すとタッチキーが表示されます。
  タッチキーが表示された状態でもう一度MENUを押すと、ツートップメニューが表示されます。

オーディオメニュー

カスタマイズ (P.26)



- TV P.84
- FM/AM P.91
- Blu-ray Disc/DVD/CD ..... P.94～102
- MEMORY MUSIC*1 ..... P.106
- SD*2 ..... P.117
- iPod P.122
- USB*2 ..... P.117
- BLUETOOTH Audio P.103
- HDMI*3 ..... P.173
- VTR*3 ..... P.173
- 交通情報*3 ..... P.91

*1 本機でSDメモリーカードに録音した音楽データの再生
*2 PCなどで保存したデータ(音楽/静止画/動画)の再生
*3 オーディオショートカットへの登録はできません。

ツートップメニュー

オーディオショートカット　音声認識 (P.152)　目的地ショートカット

- AUDIO ON(OFF) P.83
- ハンズフリー P.141
- Drive P@ss*4 .... P.148
- Android Auto*4 ... P.156
- 情報・設定 P.25
- ルート P.58

お知らせ
- 目的地ショートカットおよびオーディオショートカットの項目を変更できます。(P.26)

*4 同時には利用できません。

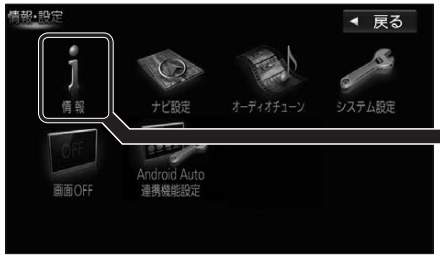
目的地メニュー

カスタマイズ (P.26)

- 名称 P.52
- 電話番号 P.52
- 履歴 P.53
- 周辺施設 P.53
- 住所 P.54
- ジャンル P.54
- 登録地 P.55
- 自宅 P.55
- マップコード*3 ..... P.55
- 緯度・経度*3 ..... P.55
- 郵便番号*3 ..... P.55

*3 目的地ショートカットへの登録はできません。

情報・設定メニュー



- 情報 ..... 右記
- ナビ設定 P.174
- オーディオチューン P.124
- システム設定 P.178
- 画面OFF P.18
- Android Auto連携機能設定 P.156

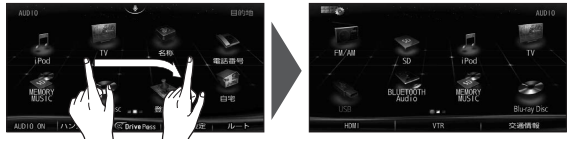
情報メニュー

- 渋滞情報 P.75
- 渋滞データバンク P.79
- GPS情報 P.16
- ETC情報 P.165
- ecoドライブ P.158
- ドライブレコーダー P.166
- システム情報:ナビID、地図更新IDを表示
- バージョン情報:ソフトのバージョンを表示
- 車両信号情報 P.19
- 拡張ユニット情報 P.20

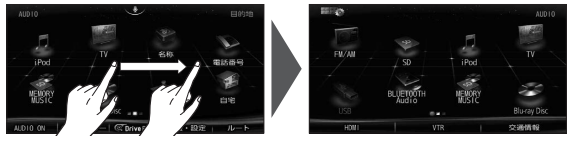
ツートップメニュー/目的地メニュー/オーディオメニューの切り換えかた

左右にフリック/ドラッグすると、フリック/ドラッグした方向に切り換わります。

フリック



ドラッグ



メニュー画面の操作

ツートップメニューに表示させる項目を変更する

オーディオメニューの並びを変更する

1 オーディオメニュー(P.24)から を選ぶ

2 カスタマイズ画面から
入れ換えたい項目を選ぶ

例：
「TV」のかわりに「FM/AM」をツートップメニューに表示するには
① TV を選ぶ
② FM/AM を選ぶ

- AUDIO初期化
  オーディオメニューのレイアウトをお買い上げ時の状態に戻す。
- 全初期化
  目的地メニュー・オーディオメニューのレイアウトをお買い上げ時の状態に戻す。

●選んだ項目が入れ換わります。

オーディオショートカットとして
ツートップメニューに表示されます。

目的地メニューの並びを変更する

1 目的地メニュー(P.25)から を選ぶ

2 カスタマイズ画面から
入れ換えたい項目を選ぶ

例：
「名称」のかわりに「履歴」をツートップメニューに表示するには
① 名称 を選ぶ
② 履歴 を選ぶ

- 目的地初期化
  目的地メニューのレイアウトをお買い上げ時の状態に戻す。
- 全初期化
  目的地メニュー・オーディオメニューのレイアウトをお買い上げ時の状態に戻す。

●選んだ項目が入れ換わります。

目的地ショートカットとして
ツートップメニューに表示されます。

セキュリティの設定をする

万一盗難にあった場合でも、セキュリティコードを設定していれば、盗難後の使用や個人情報の漏洩を防ぐことができます。

> セキュリティコードを忘れた場合、本機を使用できなくなります。
> お近くの「サービスご相談窓口」にご相談ください。
> セキュリティコード解除に生じる費用は、お客様のご負担になります。

セキュリティコードを設定する

セキュリティコードは、忘れないようにメモしておいてください。

1 情報・設定メニュー(P.25)から
システム設定 を選ぶ

2 システム設定画面から
セキュリティ を選ぶ

3 セキュリティ画面から
セキュリティ設定 する を選ぶ

4 OK を選ぶ

5 (初めて設定する場合のみ)
初期パスワード「9876」を入力する

6 セキュリティコードを入力し、
決定 を選ぶ

- 修正：1文字削除
- 文字種：数字・A～Fの大文字
- 文字数：3文字～12文字

7 はい を選ぶ

●セキュリティコードが設定されます。

本機を起動時にセキュリティコード入力画面が表示されたら

バッテリー交換時など、バッテリーコードが外されたあとに本機を起動した場合のみ、セキュリティコード入力画面(下記)が表示されます。
セキュリティコードを入力してください。

セキュリティコードを入力し、
決定 を選ぶ

●ロックが解除され、本機が再起動します。

セキュリティコードの設定を解除する

他人に譲渡する場合などは、セキュリティ設定を解除してください。

1 セキュリティ画面(左記)から
セキュリティ設定 しない を選ぶ

2 OK を選ぶ

3 セキュリティコードを入力し、
決定 を選ぶ

●セキュリティ設定が解除されます。

セキュリティに関する案内の設定をする

セキュリティ画面(左記)から
各項目の する / しない を選ぶ
(P.178)